



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月5日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務・IR部長 (氏名) 酒向 良弘 (TEL) 059(226)1193
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	8,505	8.7	304	79.4	317	93.3	226	58.8
2021年2月期第1四半期	7,823	△3.4	169	△49.7	164	△51.5	142	△34.6

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 181百万円(45.4%) 2021年2月期第1四半期 124百万円(△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	60.33	—
2021年2月期第1四半期	37.42	—

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	28,277	10,592	37.5
2021年2月期	28,555	10,486	36.7

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 10,592百万円 2021年2月期 10,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期につきましては分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,750	7.9	600	51.9	640	59.0	430	△1.1	114.48
通期	33,450	5.8	1,240	20.3	1,290	7.1	870	4.0	231.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	4,070,000株	2021年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	313,973株	2021年2月期	313,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	3,756,159株	2021年2月期1Q	3,812,366株

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年5月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域で緊急事態宣言の再発令やまん延防止等重点措置が適用されるなど、依然として厳しい環境が続いております。その一方、ワクチン接種が徐々に進展しつつあるなか、個人消費は弱いながらも持ち直しの兆しがみられるなど、先行きへの期待感が高まりつつある状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、引続き感染防止対策を徹底し、患者さま、利用者さまはもちろんのこと、当社グループ社員の安全確保に取り組み、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、2021年8月より改正薬機法(「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」)の一部が施行されることで、患者さまがご自身に適した薬局を選択できるよう、機能別の薬局の認定制度が導入されるなど、大きな変革に直面しております。また、事業者に対しては法令遵守体制等の整備が義務付けされることになり、これに先立ち、6月には厚生労働省より「薬局開設者及び医薬品の販売業者の法令遵守に関するガイドライン」が発表されております。こうした状況を踏まえ、当社グループは、患者さまが適切かつ安心して服薬できるような環境を整備していくとともに、医療機関との情報共有ならびに連携を強化し、患者さまに選ばれる薬局づくりを行っております。

ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、コロナ禍における介護サービスの社会的重要性が再認識されるなか、安定的な介護人材の確保と介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高8,505百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益304百万円(前年同期比79.4%増)、経常利益317百万円(前年同期比93.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は226百万円(前年同期比58.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により環境は依然として厳しいものの、医療機関への受診抑制は徐々に緩和の傾向が見られ、応需処方箋枚数も回復基調にあります。

この結果、売上高5,754百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益340百万円(前年同期比32.2%増)となりました。なお、当第1四半期末における当社グループの調剤薬局は合計91店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、訪問介護、通所介護等を主体に、新型コロナウイルスの感染リスクを懸念した利用控えが依然続いております。当社グループは、感染防止対策を徹底し、利用者さまはもちろんのこと、社員の体調管理に努め、利用者さまに寄り添い安心して快適に過ごせる介護サービスの提供を推進するとともに、有料老人ホームにおける入居者さまの継続的な確保に注力してまいりました。また、2020年11月にグループ化した有料老人ホームを運営する株式会社ライフケアの売上が寄与し増収となりました。

この結果、売上高1,968百万円(前年同期比28.1%増)、営業利益75百万円(前年同期比63.7%増)となりました。なお、当第1四半期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、訪問介護事業所7ヶ所、福祉用具レンタル・販売7拠点、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染長期化に伴う営業活動の制約が依然続いているものの、外来診療の抑制は緩和の兆しがみられるなど、環境が改善しつつある状況にあります。また、営業拠点を6拠点から5拠点に集約する等、経費削減と効率化を進めております。

この結果、売上高725百万円(前年同期比11.9%増)、営業利益35百万円(前年同期比121.0%増)となりました。(内部売上を含む売上高は1,003百万円となり、前年同期比で12.8%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高58百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益32百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益74百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として278百万円を消去するとともに、全社における共通経費として180百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は28,277百万円となり、前連結会計年度末と比較して277百万円減少いたしました。

流動資産の合計は13,401百万円となり、前連結会計年度末と比較して253百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が200百万円増加したものの、現金及び預金が455百万円減少したこと等によるものです。固定資産の合計は14,876百万円となり、前連結会計年度末と比較して24百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産のその他が148百万円増加したものの、投資有価証券が101百万円、のれんが62百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は17,685百万円となり、前連結会計年度末と比較して383百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が278百万円、賞与引当金が184百万円それぞれ増加し、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が430百万円、流動負債のその他が244百万円、未払法人税等が157百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は10,592百万円となり、前連結会計年度末と比較して106百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が151百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が44百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月12日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,003,288	6,548,058
売掛金	4,737,017	4,937,341
商品	1,095,008	1,115,126
その他	822,283	803,906
貸倒引当金	△2,708	△2,709
流動資産合計	13,654,889	13,401,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,185,536	6,143,762
土地	3,176,825	3,176,825
その他(純額)	752,234	900,538
有形固定資産合計	10,114,596	10,221,125
無形固定資産		
のれん	1,780,504	1,718,358
その他	152,768	146,020
無形固定資産合計	1,933,272	1,864,378
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,920	989,099
敷金及び保証金	907,820	895,358
その他	854,099	906,176
投資その他の資産合計	2,852,841	2,790,634
固定資産合計	14,900,710	14,876,138
資産合計	28,555,599	28,277,861
負債の部		
流動負債		
支払手形	45,547	53,809
買掛金	3,445,500	3,724,056
短期借入金	740,000	725,000
1年内返済予定の長期借入金	3,251,061	3,165,254
未払法人税等	359,759	202,267
賞与引当金	221,356	405,761
その他	1,034,774	790,401
流動負債合計	9,098,000	9,066,550
固定負債		
長期借入金	7,611,616	7,282,375
リース債務	245,328	234,269
退職給付に係る負債	696,054	707,115
その他	418,547	395,260
固定負債合計	8,971,545	8,619,022
負債合計	18,069,546	17,685,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	853,083	853,083
利益剰余金	9,247,768	9,399,277
自己株式	△541,555	△541,555
株主資本合計	10,476,296	10,627,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,310	△37,350
退職給付に係る調整累計額	2,446	1,834
その他の包括利益累計額合計	9,756	△35,515
純資産合計	10,486,053	10,592,289
負債純資産合計	28,555,599	28,277,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	7,823,457	8,505,914
売上原価	7,104,760	7,614,378
売上総利益	718,697	891,536
販売費及び一般管理費	549,076	587,308
営業利益	169,620	304,227
営業外収益		
受取利息	377	355
受取配当金	327	466
受取保険金	17,463	—
助成金収入	3,184	18,519
その他	6,108	9,924
営業外収益合計	27,460	29,266
営業外費用		
支払利息	13,099	14,662
損害賠償金	17,468	—
その他	2,062	878
営業外費用合計	32,631	15,540
経常利益	164,450	317,953
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	83,972	74,885
特別利益合計	83,972	74,895
特別損失		
固定資産除却損	0	590
投資有価証券売却損	2,517	—
賃貸借契約解約損	—	4,352
特別損失合計	2,517	4,942
税金等調整前四半期純利益	245,904	387,906
法人税、住民税及び事業税	152,400	215,050
法人税等調整額	△49,170	△53,775
法人税等合計	103,229	161,274
四半期純利益	142,675	226,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,675	226,631

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益	142,675	226,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,642	△44,660
退職給付に係る調整額	△2,320	△611
その他の包括利益合計	△17,963	△45,272
四半期包括利益	124,712	181,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,712	181,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,580,823	1,536,263	648,618	57,752	7,823,457	—	7,823,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	240,648	540	241,188	△241,188	—
計	5,580,823	1,536,263	889,267	58,292	8,064,646	△241,188	7,823,457
セグメント利益	257,500	46,387	16,065	28,922	348,876	△179,256	169,620

(注) 1 セグメント利益の調整額△179,256千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用347,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,754,029	1,968,019	725,690	58,174	8,505,914	—	8,505,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	150	277,651	540	278,341	△278,341	—
計	5,754,029	1,968,169	1,003,341	58,714	8,784,256	△278,341	8,505,914
セグメント利益	340,389	75,954	35,502	32,717	484,564	△180,336	304,227

(注) 1 セグメント利益の調整額△180,336千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用357,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。